

分科会開催報告書

報告日 令和3年 3月 4日(木)	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 144回浮雲俳句会
開催日時 令和3年 2月 28日(日) 午前9時30分～午後0時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員	男11名 女5名 合計16名 欠席者1名

実施内容

第144回例会は、兼題①松山城②天文(初春)他に当季雑詠2句。計4句。

句会は、大川一馬会員による添削披露及び、片岡三洋会員による選句の披講の後、北野主幸が逝去されたため、全員で、天・地・人賞と特選5句を選んだ。

天賞句	窯元の唐臼響く日田の春	二 祥
地賞句	水温む十指やんはり解かれて	國 眼
人賞句	春耕や一畝ごとの深呼吸	一 祝
特選句	片口の酒に揺蕩ふ春の月	春 駒
	薄紙の包む和菓子や朧月	とも女
	躓きつも生きる幸せ梅咲けり	祥 代
	春眠の嬰指白しやはらかし	とも女
	陽が鞆す川面に蝶々生まれけり	祥 代

お知らせ

新代表の選出

北野代表が逝去されたので、全員協議の結果、太田耕蔵会員を、新代表に決定した。

次回の予定

令和3年3月28日(日) 午前9時30分～午前11時30分

第145回例会」は、能見台地区センター多目的室—A—

第145回例会」は、兼題①小田原城②地理(仲春)他に当季雑詠2句。計4句。

披講兒玉國眼会員。